

関西学院大学・福井県立大学 連携講座

危機管理対応と 被災者支援

2007.11.10 sat

13:00▶15:00

福井県立大学福井キャンパス共通講義棟

講師

やまなか しげき

山中 茂樹

関西学院大学災害復興制度研究所主任研究員・教授

講義内容

阪神・淡路大震災から10年目にあたる2004年は、期せずして近年の災害対応史で一つの転換点となった。年平均3個といわれる台風が10個も上陸。さらに10月には新潟県中越地震、年末にはスマトラ大地震・インド洋大津波が起き、世情は騒然とした。この年4月、専門官・危機対策幹を新設したばかりの福井県も7月、県都福井市を流れる足羽川の堤防が決壊、死者・行方不明5人、家屋の全壊65棟・床上浸水4052棟という大惨事に見舞われることになる。このダメージを乗り越えるため、福井県は水害を対象とした自治体独自の大規模な住宅再建支援策を全国で初めて打ち出し、阪神大震災以降大きな課題となっていた住宅再建支援論争に一石を投じることになる。危機管理対応と被災者支援。二つの局面に大きな影響を与えた2004年を「全国自治体調査」のデータや米国の危機管理事例、さらには被災者生活再建支援法の見直し問題などを交えながら概説。

受講料無料

申込先

〒910-1195 吉田郡永平寺町松岡兼定島4-1-1 福井県立大学福井キャンパス研究推進課
TEL: 0776-61-6000(内線1018,1019) FAX: 0776-61-6012 E-mail: openfpu@fpu.ac.jp

申込方法

ハガキ、電話、FAX、E-mailで受付しております。
講座名・お名前・ご住所・電話番号をお書き添えの上お送りください。